

令和4年(2022年)1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年1月 数量 (トン)	2022年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。低温の影響でL・M中心の出荷でした。入荷量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	563	75	92%	83%
2		はくさい	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。4玉中心の入荷でした。入荷量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	681	42	92%	118%
3		きゅうり	宮崎県産・茨城県産中心の入荷でした。低温の影響で肥大が進まらずも順調な出荷により、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価は前年並みで推移しました。	295	383	101%	98%
4		ほうれん草	茨城県産・群馬県産・神奈川県産中心の入荷でした。低温・干ばつの影響により、入荷量は減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	71	657	87%	99%
5		馬鈴薯	北海道産の昨年夏場の干ばつによる収穫量減による影響が大きく、全体的な入荷量は増加しましたが、平均単価はかなり高く推移しました。	298	245	116%	127%
6	果実	みかん	静岡県産等の東海地区への産地リレーが早まり、出荷の絶対量が少なく、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	711	278	97%	107%
7		りんご	青森県産中心の入荷でした。産地在庫が少なく、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	161	370	89%	125%
8		いちご	全国的に苗が生育不良の上、1番果と2番果の端境期も重なり、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	109	1,998	72%	128%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上